

認定こども園土崎幼稚園 沿革

- 大正 6年 郡有建物養蚕所を借用し、知事より大正6年5月21日幼稚園の認可を受け、同年6月20日設立者近江谷栄治氏、園長中山文太郎先生をもって開園。4歳児23名、5歳児15名
- 昭和 3年 加藤助吉氏、知事へ園長設置者の届け出し、認可を得る。
- 20年 戦争のため、建物強制疎開の命により、解体休園する。
- 8月 学務課に再開を申請し許可を得る。竈（かまど）神社、授産所、琴平神社に分散し保育を始める。
- 22年 母の会や特志の方たちの協力により園舎設計の計画を立てる。
- 23年 保育室2、ホール、職員室他を建設し、授産所は分園として継続
- 24年 園舎竣工式典挙げる。
- 28年 ベビーブームため、隔日保育に入る。
- 29年 図書館の旧舎をもって増築し、隔日保育を解消する。
- 31年 40周年式典挙げる。
- 36年 園庭南側に保育室を増築する。分園を廃する。
- 39年 保育室を増築する。
- 41年 50周年記念式典を挙げる。
- 43年 給食始まる。
- 47年 園歌制定する。作詞、竹内瑛二郎、作曲、大山会三郎
- 55年 学校法人の認可を得る。学校法人加藤学園として発足する。
- 56年 園舎改築完成、竣工式典を行う。
- 58年 園バス運行が始まる。
- 61年 70周年記念式典を挙げる。
- 平成 元年 東北私立幼稚園研究大会の公開保育を行う。
- 4年 預かり保育始まる。
- 5年 県私立幼稚園の第2分科会の公開保育を行う。県私立幼稚園研修大会で研究発表を行う。
- 8年 創立80周年記念式典を行う。
- 9年 県私立幼稚園第4分科会の公開保育を行う。
- 12年 小型バス購入、預かりの部屋にクーラー設置 大潟村に菜園を借りる。園舎外壁（北、南側）修理する。
- 13年 園舎外壁（東、西側）修理し、園舎修理完工する。
- 14年 完全週5日制実施、新制服採用、県私立幼稚園第7分科会公開保育を行う。
- 15年 大型バス購入 満3歳児入園始める（二学期）
- 16年 給食、業者による週4日制になる。
- 17年 早朝預かり行う。
- 18年 満3歳誕生日の月初めからの入園許可
- 19年 創立90周年記念式典を行う。
- 20年 幼稚園・保育所新規採用者研修会場として公開保育を行う。
- 21年 園舎耐震強度診断検査・審査合格
- 24年 ロンドン五輪日本代表 江畑幸子選手と交流する。（女子バレーボール銅メダリスト）
- 26年 東北地区私立幼稚園連合会教員研修大会秋田大会で公開保育（全日本私立幼稚園連合会コーディネーター養成講座）を行う。
- 27年 学校法人加藤学園土崎幼稚園を廃止し、学校法人加藤学園幼保連携型認定こども園土崎幼稚園となる。
- 28年 危険防止カメラ2台設置
- 29年 創立100周年記念式典・祝賀会を挙げる。記念誌発行する。
遊具の撤去と設置（ブランコ・滑り台、鉄棒）
- 30年 小型バス購入
- 令和 元年 大型バス購入
- 2年 園内壁紙張替、LED化（遊技場を除く）
- 3年 園舎外壁塗装（園庭側）
- 4年 園庭の環境整備（きのこ撤去、お山改良）、ホール用大型空気清浄機導入